

第14回定時総会・平成26年度第1回定例会 開催報告

- 【名称】 関東甲信越東海 GIS 技術研究会 第 14 回定時総会・平成 26 年度第 1 回定例会
 【日時】 平成 26 年 4 月 24 日（木）
 【会場】 アパホテル&リゾート東京ベイ幕張 48 階 TKP ガーデンシティ幕張
 千葉県千葉市美浜区ひび野 2-3 TEL 043-351-7831
 【参加数】 45 名

第14回定時総会

13:10~14:00 総会会場：サンタマリア

- 1 開会の辞 （宮下副会長）
- 2 会長挨拶 （増澤会長）
- 3 議長選出、議事録署名人の指名
 東洋測量設計株式会社 戸部社長
 黒田整地開発株式会社 黒田社長



- 4 議事
 - ・ 第1号議案 平成25年度事業報告承認の件 →可決
 - ・ 第2号議案 平成25年度決算報告承認の件 →可決
 監査報告（森田監事）
 - ・ 第3号議案 役員改選について
 事務局案が承認され、理事全員の留任が決定しました。
 また、選考委員長の佐藤理事より、以下の役員が発表されました。

長野	増沢延男	→	会長
新潟	宮下寿幸	→	副会長
群馬	奥泉春夫	→	会計監事
埼玉	森田昭也	→	会計監事
栃木	佐藤 節		
山梨	松山典久		
千葉	河名洋一		
茨城	安藤三知弘		
神奈川	宮古和彦		

- ・ 第4号議案 平成26年度事業計画（案）承認の件 →可決
- ・ 第5号議案 平成26年度予算（案）承認の件 →可決
- 5 閉会の辞 （松山理事）



平成26年度第1回定例会

14:10～17:20 定例会会場：サンタマリア

1 「平成26年度活動方針の説明」 関東甲信越東海GIS技術研究会 会長 増澤延男

私たちは、次のような“志（ビジョン）”をもって活動しています。

「現在及び将来の国民が安心して豊かな生活を営むことができるG空間社会
（地理空間情報を高度に利用した経済社会）を実現します」

- ◆ 「産学官民」連携によるGIS産業の発展、G空間社会の実現への貢献
- ◆ GIS活用促進による地域活性化への貢献
- ◆ GIS関連技術の研究、知識の習得による新たな空間情報技術者の育成
- ◆ 自治体の住民サービス向上と業務効率化への貢献
- ◆ 測量業界の異分野への事業領域拡大
- ◆ 会員企業の経営安定化

これを踏まえ、今年度のキーワードは、“1トライ”です。私たちの使命は、G空間社会を実現することです。国と地域の橋渡しをさせて頂くことです。そのスタンスは変わりませんが、更に皆様のご当地で“1トライ！”あげましょう。各社必ず業務を受注しましょう。また、これからは更に資格取得の必要性が高まります。研究会でも支援させていただきますので、GIS上級技術者資格を取得してください。



2 来賓挨拶

NP0 法人全国 GIS 技術研究会 理事長 碓井照子

今年の業界のキーワードは、“レジリエント”です。
“レジリエントな国土”などの表現をしますが、「レジリエンス」(resilience)は、一般的に「復元力、回復力、弾力」などと訳される言葉で、リスク対応能力、危機管理能力を備えた国土ということになります。
私たち NP0 の会員は地域に根差す高度な GIS リテラシーを持った測量会社です。自治体職員も巻き込み有事に備えなければなりません。私たちの活動を拡大する事が地域のレジリエンスを高める結果に繋がっていきます、更に頑張って活動しましょう・・・



3 平成26年度事業計画の説明

関東甲信越東海 GIS 技術研究会 副会長 宮下寿幸

当研究会は、GIS による地域活性化をめざし様々な活動をしてまいりましたが、今年度は、6/26 に NP0 全国大会を開催します。今回は全国の会員による事例発表大会がメインになります。8 月にはスキルアップ講座を、秋には NP0 技術委員会との交流会も計画しています…。



4 平成26年度スキルアップ講座の説明

関東甲信越東海 GIS 技術研究会 技術委員長 奥泉春夫

当研究会では、毎年、技術力向上のためのスキルアップ講座を開催しております。今年は「地理院地図」をメインに講座を開催する予定です。事前に地理院地図を構築するマニュアルを作成し、地元自治体にアプローチしてみたところ、反応がとても良かったのです。以前の電子国土よりも格段に使いやすくなったと実感しております。



5 事例紹介1「地理院地図を使って成功しました！」

関東甲信越東海 GIS 技術研究会 千葉県支部 河名理事

千葉県内工業高校・農業高校の教師を対象に 12 月 25 日に地理院地図の活用研修会を開催しました。学習指導要領に“地理空間情報”というキーワードが明記され、学校授業での GIS 活用が求められています。その開催報告に加え、千葉県や地元自治体からの災害対応などの依頼を地理院地図を活用して対応した経緯や効果についてもご報告いたします。



地理院地図の活用勉強会を終えて

千葉県内工業高校及び農業高校の先生を対象に



千葉県支部 河名 洋一

土木事務所管内 約100箇所

- ・管内図に災害箇所を記入
- ・災害調査一覧表

地理院地図を使おう
土木事務所へパソコンを持ち込み
その場で地図に位置を表示

エクセル一覧表からわずか30分で地図リンク

東総工業高校へGISについて連絡

- ・無料で使用できるGISツール「地理院地図」
- ・背景とする地図が国土地理院より配信
- ・地理院からのマニュアルをダウンロードして解説
- ・サンプルデータの作成「旭市の広域避難場所」を作成



先生からの返信メール

- ・GIS勉強会をこれでお願します。
- ・会場は千葉周辺で
- ・県内工業及び農業の先生へも参加して頂く(約10人予定)
- ・農業系の学校へは県庁から参加要請する。

会場：茂原樟揚高校に決定 平成24年12月24日

- ・宮島専務と千葉測器 川名さんが応援で参加
- ・国土地理院より 田山さんがサポートして頂きました。




6 事例紹介 2「寒川町でこれでもか!とガンバっています。」 NPO 法人全国 GIS 技術研究会 専務理事 宮島四郎

私たち NPO は、国と地域の懸け橋となり地理空間社会を実現し、地域貢献をしなければなりません。今回は神奈川県寒川町における国と地方自治体と当 NPO の電子国土活用実証実験の経過報告をさせていただきます。神奈川県寒川町において、電子国土を利用した住民サービスを実施しておりますが、導入後の効果（来庁せずに用事が済んだ件数など）も数字で実証で来ており、更に危険箇所、防災などのコンテンツを拡張していく予定です。



15:30 パネルディスカッション
「新たな潮流、あるべき産学官三位一体とは？」



パネラー

- ① 千葉県立東総工業高等学校 建設科教諭 田村信義 様
「高等学校授業の GIS 活用を紹介」
- ② 国土地理院関東地方測量部長 佐藤 潤 様
「国土地理院の活動内容の紹介」
- ③ 地理情報システム学会理事 自治体分科会 大場 亨 様
市川市役所 経済部商工振興課 雇用労政担当室長
「地理情報システム学会の活動内容の紹介」
- ④ 株式会社マプコン代表取締役社長 馬場浩司 様
「国策企業としての活動内容の紹介」
- ⑤ NPO 法人全国 GIS 技術研究会理事長 碓井照子 コメントと纏め役
NPO 法人全国 GIS 技術研究会専務理事 宮島四郎 会の運営役



会場（48階） サンタマリア（総会、定例会）



ヴァンガード（懇親会）



(TKP ガーデンシティ幕張 HP より)

懇親会風景

